

交響曲の分析表

本文の分析手順に従って、ベートーヴェンの交響曲のソナタ形式の楽章（主に1楽章）を選んで分析したものです。全楽章を分析したものではありません。

形式分析では、位置や部分を示すために楽譜を載せるのが最適ですが、紙面が膨大な量になることや、楽譜では全体が見渡せないといった理由から、分析結果を表形式にまとめました。

楽譜上の位置について

位置は小節数と拍で特定します。数え方は以下の通りです。

- ・小節数は1から数える。ただし、弱起（アウフタクト）の小節は0とする。
- ・繰り返しの2.括弧は、1.括弧と同じ小節数から数える。
- ・拍の位置は、拍子記号の分母ではなく、曲ごとに1小節の基本拍数を示し（たいていは分母かその倍）、1から数える。

簡単かつ正確に長さを測るために、このような方法をとっています。

表の見方

表は、時間軸に沿って、下に見て行きます。

1曲を1ページ内に納め、部分々々の割合、フレーズの出現頻度、テクスチャと調の変化など、全体を見渡せるようにしています。また、曲を聴きながら表を追っていけるようにも考慮しました。

カラムの内容

各カラムの内容は以下の通りです。

カラム	内容
提示部／展開部／再現部／コーダ	ソナタ形式のもっとも大きな区切りの各ブロック。 大きさを小節数で書く。
1部 2部	本文で説明した、 提示部を調性の対比やフレーズによって2つに分けた部分のブロック。 大きさを小節数で書く。
coda	提示部、展開部などの終結部分のフレーズ。 大きさを小節数で書く。
フレーズ	新出のフレーズ。Aから連番を付けている。 これが基本単位。
要素（モチーフなど）	フレーズに使われているモチーフなど。再現部では、提示部との違いを書く。 著者の見方なので、参考程度に考えてください。
テクスチャ	旋律＋伴奏（アルペジオ）、3声体といったテクスチャの内容。
位置 小節・拍	小節数と拍で表したフレーズの開始位置と終了位置。
長さ 小節・拍	位置から算出した、フレーズの長さ。
調性、 開始・推移	ドイツ音名での調。 開始はフレーズ開始時の調、推移はフレーズないで転調しているときの調
音度	主調に対する、フレーズ開始調の音程関係
調関係	フレーズ開始調の主調との関係。 近親調の連鎖で表記できるものだけ書いている。

交響曲 NO.1 1楽章 ハ長調

Opus 21

1799 - 1800

4/4拍子

単位 4

	フレーズ	要素(モチーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移				
序奏			和音奏	1	1	4	1	3	0	C(F)	G				
12			4声、カデンツ	4	1	13	1	9	0	C					
呈示部	1部	A	(4+2) x 2 + 8 a=先頭1小節	13	1	33	1	20	0	C	d C		1	主	
97	39.75	B		33	1	41	1	8	0	C					
		つなぎ	aによる	41	1	45	1	4	0	C					
		C		45	1	52	4	7	3	C					
	2部	D		52	4	69	1	16	1	G			5上	属	
	57.25	E		69	1	77	1	8	0	G					
			Dによる	77	1	88	1	11	0	g	B g			属短	
		F		88	1	100	1	12	0	G				属	
	coda	G		100	1	106	1	6	0	G					
		つなぎ		106	1	110	1	4	0	C					
展開部			aによるゼクエンツ	110	1	122	1	12	0	A	D G		短3下		
68			aによるゼクエンツ	122	1	136	1	14	0	c	f B Es		1	同主短	
			Cによる	136	1	144	1	8	0	Es	c		短3上		
			a+Cによるゼクエンツ	144	1	160	1	16	0	Es	f g d a				
		H		160	1	172	1	12	0	a			短3下	並行	
		つなぎ		172	1	178	1	6	0	C					
再現部	1部	A	全奏に変化	178	1	190	1	12	0	C	d		1	主	
81	27.75		Aの半音上行によるゼクエンツ	190	1	198	1	8	0	F	2度上昇			不安定	
		つなぎ		198	1	205	4	7	3	C			1	主	
	2部	D		205	4	222	1	16	1	C					
	53.25	E		222	1	230	1	8	0	C					
				230	1	241	2	11	1	c	Es c			同主短	
		F		241	1	253	1	12	0	C				主	
	coda	G	Bによる	253	1	259	1	6	0	C					
コーダ			呈示部つなぎ+a	259	1	271	1	12	0	C					
40			カデンツ	271	1	277	1	6	0	C					
	coda		aによる	277	1	299	1	22	0	C					

特徴

2部がすこし大きい
2部の途中に、同主短調のフレーズがある。

交響曲 NO.2 1楽章 二長調

Opus 36

1802

3/4拍子 4/4拍子

単位 4

	フレーズ	要素(モティーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移				
序奏 33		b=最初の付点の和音奏	和音奏、4声	1	1	9	1	8	0	D		1	主		
		bによる	和音奏掛け合い	9	1	12	1	3	0	h	C d		不安定		
			旋律(走句的)+伴奏(和音刻み)	12	1	23	1	11	0	E	g d				
		bのリズムによる	ユニゾン(全奏)	23	1	25	1	2	0	d					
		Vペダル	3連+旋律+ペダル	25	1	29	1	4	0	d					
	Vペダル	和音連打(3連)+トリル	29	1	34	1	5	0	d						
呈示部 100	1部 45	A	4+4+5 a=先頭1小節	伴奏(8分連打)+旋律	34	1	47	1	13	0	D		1	主	
			A繰り返し変奏	旋律+伴奏(トレモロ) 走句+伴奏	47	1	61	1	14	0	D	d			
	2部 55	B		旋律+伴奏(2声トレモロ8分) ユニゾン	61	1	79	1	18	0	a		5上	属短	
		C		旋律(和音)+ペダル	79	1	88	1	9	0	A			属	
		D		ペダル(シンコペ)+旋律	88	1	96	1	8	0	A				
	coda	E	bによる	和音奏	96	1	103	1	7	0	A				
			Aによる	ユニゾン カデンツ	103	1	112	1	9	0	a			属短	
			Aによる	旋律+ペダル 和音奏 ユニゾン(アルペジオ)	112	1	130	1	18	0	A(d)	A		属	
	つなぎ		6の和音	130	1	134	1	4	0	A					
展開部 82		呈示つなぎによるゼクエンツ	6の和音	134	1	138	1	4	0	A					
		aによるゼクエンツ	伴奏(8分連打)+旋律	138	1	146	1	8	0	d		1	同主短		
		aと対旋律の組み合わせ ゼクエンツ	2声(対位的)+和音	146	1	158	1	12	0	g	F B d C	4上	下屬短		
		aの整理	旋律+和音	158	1	166	1	8	0	C	e d	長2下	不確定		
		和声的復進行+a	和音+旋律	166	1	170	1	4	0	C	a	長2下			
		Iペダル a+下屬調V(I)ペダル	和音	170	1	182	1	12	0	G		4上	下屬		
		CとCの後半による	旋律(和音)+ペダル	182	1	198	1	16	0	G	d h fis		不安定		
		IIIペダル bのリズムによる	2声 アルペジオ(トレモロ)+和音奏	198	1	212	1	14	0	fis		長3上	半終止		
	つなぎ	V7	ユニゾン 和音奏	212	1	216	1	4	0	fis	D				
再現部 86	1部 29	A	オブリガート追加 A後半3小節による延長	伴奏(8分連打)+旋律	216	1	233	1	17	0	D		1	主	
		B	前半長調に変化	旋律+伴奏(2声トレモロ8分) ユニゾン	233	1	245	1	12	0	D	d			
	2部 57	C		旋律(和音)+ペダル	245	4	260	1	14	1	D				
		D		ペダル(シンコペ)+旋律	260	1	268	1	8	0	D				
		E		和音奏	268	1	274	2	6	1	D	d			
	coda			ユニゾン カデンツ	274	1	284	1	10	0	d			同主短	
			Aによる	旋律+ペダル 和音奏 ユニゾン(アルペジオ)	284	1	292	1	8	0	D(g)			主	
	つなぎ		6の和音	292	1	302	1	10	0	D					
コーダ 59		再現つなぎによるゼクエンツ	6の和音	302	1	310	1	8	0	D	G e				
		再現つなぎ+aによるゼクエンツ	4声(対位的)	310	1	316	1	6	0	D					
		aによるゼクエンツ	旋律+ペダル 和音奏	316	1	327	1	11	0	D					
			和音奏	327	1	336	1	9	0	D			未確定		
		カデンツ	和音奏	336	1	340	1	4	0	D					
			アルペジオ+低音	和音奏	340	1	350	1	10	0	D				
		A bのリズムによる	ユニゾン 和音奏	350	1	361	1	11	0	D					

特徴

再現部がすこし大きい
2部の途中に、同主短調のフレーズがある。
序奏のリズムが使われる。
展開部が、3度調で終わる。(3度調も対比調の内)

序奏	フレーズ	要素(モチーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係	
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移					
			和音奏	1	1	3	1	2	0	Es		1	主			
151	1部	A	4+8 a=最初の4小節 b=Bassの半音上昇(Cis,D,Es)	和音(刻み8分)+旋律 旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass	3	1	15	1	12	0	Es		1	主		
			Aによる	旋律+和音(刻み8分)	15	1	23	1	8	0	Es					
		B	2拍子のヘミオラ	和音奏	23	1	36	1	13	0	Es					
			Aによる	和音(刻み8分)+旋律	36	1	45	1	9	0	Es	B				
		C		旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass ユニゾン	45	1	57	1	12	0	B		5上	属		
		D		3声+ペダル	57	1	65	1	8	0	B					
	71	E		旋律+和音奏	65	1	73	1	8	0	g	c B	長3上	属の並行		
		F		走句(旋律トレモロ) ユニゾン(スケール下降)	73	1	83	1	10	0	B		5上	属		
		G		4声	83	1	99	2	16	1	B	b Des f				
		つなぎ		スケール(3度)+ペダル	99	2	109	1	9	2	B					
		H		旋律+伴奏(トレモロ8分)	109	1	117	1	8	0	B					
		I		3声(トレモロ16分)	117	1	123	1	6	0	B					
		J		和音奏	123	1	132	1	9	0	B					
		K		4声体 旋律+伴奏(アルペジオ)	132	1	144	1	12	0	B					
coda	L		和音奏+旋律	144	1	148	1	4	0	B						
	つなぎ	aによる	2声、3声	148	1	154	1	6	0	B	es					
244	展開部	つなぎ		和音奏	154	1	166	1	12	0	es	c	1	同主短		
			Cによる	旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass	166	1	178	1	12	0	C		短3下			
			aによる	和音(トレモロ16分)+旋律	178	1	186	1	8	0	c	cis				
			Eとaの組み合わせ、 ゼクエント 整理	旋律(E)+和音+低声(a)	186	1	220	1	34	0	d	g c	短2下			
			Cによる	旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass	220	1	236	1	16	0	As	f	4上	下屬		
			Cによる	2声、3声(対位法的)	236	1	249	1	13	0	f	c g d	長2上			
			Bによる	和音奏	249	1	284	1	35	0	a	e	増4			
			M		4声(内声ペダル)	284	1	300	1	16	0	e	a	短2上	ナポリ	
			aによる	ユニゾン ユニゾン+内声(和音トレモロ) ユニゾン	300	1	321	1	21	0	C	Es	短3下			
			Mによる	4声(+ペダル)	321	1	348	1	27	0	es	Ges	1	同主短		
			a+Bの組み合わせ	3声模倣+低音(アルペジオ)	348	1	366	1	18	0	es	Des es Ces				
再現部	1部	88	つなぎ	Vペダル	和音+アルペジオ トレモロ	366	1	398	1	32	0	Ces	Es			
				A	5小節以降変更	和音(刻み8分)+旋律 旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass	398	1	416	1	18	0	Es	f	1	主調
163	1部	88	つなぎ	Aによる	旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass	416	1	430	1	14	0	Des	Es	長2下		
				Aによる	旋律+和音	430	1	448	1	18	0	Es		1	主調	
				C	旋律+伴奏(トレモロ8分)+Bass ユニゾン	448	1	460	1	12	0	Es				
		D	3声+ペダル	460	1	468	1	8	0	Es						
			E	旋律+和音奏	468	1	478	1	10	0	c	f Es	短3下	並行		
		F	走句(旋律トレモロ) ユニゾン(スケール下降)	478	1	486	1	8	0	Es		1	主調			
	75	2部	75	つなぎ	G	4声	486	1	502	2	16	1	Es	es Ges b		
					つなぎ	スケール(3度)+ペダル	502	2	512	1	9	2	Es			
		H		旋律+伴奏(トレモロ8分)	512	1	520	1	8	0	Es					
		I		3声(トレモロ16分)	520	1	526	1	6	0	Es					
		J		和音奏	526	1	535	1	9	0	Es					
		K		最初の旋律が 基本形のアルペジオに変更	4声 旋律+伴奏(アルペジオ)	535	1	547	1	12	0	Es				
		coda	L		和音奏+旋律	547	1	551	1	4	0	Es				
			つなぎ	aによる	2声、3声	551	1	561	1	10	0	Es				
コーダ	131	coda	つなぎ	a+対旋律(c)	3声+和音 1声→2声	561	1	581	1	20	0	Es	Des	長2下		
				M	4声	581	1	595	1	14	0	C		短3下		
				つなぎ	対旋律(c)によるゼクエント	4声	595	1	603	1	8	0	Es		1	主調
				つなぎ	B+bの半音上昇	対旋律+和音(トレモロ)+アルペジオ	603	1	623	1	20	0	Es			
				つなぎ	カデンツ	旋律+伴奏(和音奏)	623	1	631	1	8	0	Es			
				つなぎ	A+Eによる対旋律	対旋律+旋律+伴奏(トレモロ) 対旋律+伴奏(和音シンコペ)+旋律 対旋律+伴奏(和音トレモロ)+旋律 和音(トレモロ)+アルペジオ	631	1	673	1	42	0	Es			
				D、B	3声+ペダル 和音奏	673	1	692	1	19	0	Es				

特徴

すべての規模が大きい(特に展開部が大きい)
1部のフレーズが展開される。
半音上昇のbの断片がたくさん見られる。

4/4拍子

単位 4

	フレーズ	要素(モティーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移				
序奏 42			ユニゾン+ペダル 旋律、和音奏の掛け合い	1	1	13	1	12	0	b			1	同主短	
		前フレーズの繰り返し(移調)	ユニゾン+ペダル 旋律、和音奏の掛け合い	13	1	25	1	12	0	b	h				
			和音+伴奏(和音奏) 和音奏	25	1	32	1	7	0	h	c a	1		ナポリ 不安定	
		c=上行音階	4声 和音奏	32	1	43	1	11	0	d	B			長3上	
呈示部 144	1部 64	A	(4+4) x 2 + 4 a=初めの4小節 b=次の4小節(6和音の連続)	旋律+和音(トレモロ) 3声、和音奏の掛け合い	43	1	65	1	22	0	B		1	主	
		つなぎ	aによる	和音+対旋律+Bass(a)	65	1	81	1	16	0	B				
			Aによる	和音+対旋律+Bass(a)	81	1	95	1	14	0	B	d c f			
		B		和音奏	95	1	103	1	8	0	f		5上	属短	
		つなぎ		3声	103	1	107	1	4	0	F			属	
	2部 80	C		2声(模倣)+和音 旋律+伴奏(和音奏)	107	1	121	1	14	0	F	d			
		つなぎ		ユニゾン(2分) 和音奏	121	1	135	1	14	0	d	F	長3上	不安定	
		D		和音奏	135	1	141	1	6	0	F		5上	属	
		E		2声(模倣)+和音 2声(外声掛け合い)+和音	141	1	159	1	18	0	F				
		つなぎ		2声 和音奏(トレモロ)	159	1	177	1	18	0	F				
coda	F		旋律(シンコペ)+伴奏(トレモロ)	177	1	187	1	10	0	F					
展開部 150		aによる	旋律+和音	187	1	203	1	16	0	F					
		cによる	和音+アルペジオ(a) 2声(a+c)	203	1	217	1	14	0	A			短2下		
		aによる	旋律+伴奏(トレモロ)	217	1	221	1	4	0	D			長2上		
	G	新フレーズによるゼクエンツ	旋律+伴奏(a)	221	1	241	1	20	0	D	g Es		短2下		
		c+aによるゼクエンツ 整理へ	和音+アルペジオ(a) アルペジオ掛け合い	241	1	281	1	40	0	Es	G f ?	4上	下屬 後半未確定		
		cによる bによる(序奏と同じ調のパターン)	旋律+和音奏 1声	281	1	305	1	24	0	H				ナポリ	
	Iペダル	cによるつなぎ	旋律+和音奏 2声+ペダル ユニゾン+ペダル	305	1	337	1	32	0	B		1	主		
再現部 130	1部 44	A	つなぎで対旋律追加	旋律+和音(4分)	337	1	351	1	14	0	B		1	主	
			Aによるゼクエンツ	和音+対旋律+Bass(a)	351	1	369	1	18	0	B	c Es B		不安定	
		B		和音奏	369	1	381	1	12	0	b				
		つなぎ		3声	381	1	381	1	0	0	B				
	2部 86	C		2声(模倣)+和音 旋律+伴奏(和音奏)	381	1	395	1	14	0	B	g			
		つなぎ		ユニゾン(2分) 和音奏	395	1	409	1	14	0	g	B			不安定
		D		和音奏	409	1	415	1	6	0	B				
		E	Bassがティンパニに	2声(模倣)+和音 2声(外声掛け合い)+和音	415	1	432	1	17	0	B				
		つなぎ		2声 和音奏(トレモロ)	432	1	451	1	19	0	B				
coda	F		旋律(シンコペ)+伴奏(トレモロ)	451	1	467	1	16	0	B					
コーダ 32		aによる	外声(掛け合い)+内声和音(トレモロ)	467	1	475	1	8	0	B					
		bによる	3声、和音奏の掛け合い	475	1	483	1	8	0	B					
	coda	b+cによる	上声(c)+内声和音(トレモロ)+低声(b) 和音奏	483	1	499	1	16	0	B					

特徴

展開部が呈示部より大きい。

調構造が、典型的。

交響曲 NO.5 『運命』 1楽章 ハ短調

Opus 67

1807

2/4拍子

単位 4

	フレーズ	要素(モチーフなど)	テクスチャ	開始位置		終了位置		長さ		調		音度	調関係		
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移				
呈示部 124	1部 58	A	5+8+3+8 a=1-2小節	ユニゾン 4声(対位法的、階梯導入) 和音奏	1	1	22	1	21	0	c		1	主	
				ユニゾン 4声(対位法的、階梯導入)	22	1	33	2	11	1	c				
		B	aによる	旋律+和音奏	33	2	44	2	11	0	c				
		C	aによる	アルペジオ(a)+和音 和音奏	44	2	59	1	14	3	c	B			
	2部 66	D		1声	59	1	63	1	4	0	Es		短3上	並行	
		E	aのBass	旋律+和音(2分)+Bass(a)	63	1	75	1	12	0	Es				
			Eによるゼクエント 整理	旋律+和音(2分)+Bass(a)	75	1	94	2	19	1	f	As es	4上	下屬(一時的)	
		F		旋律+和音奏 旋律+和音奏+Base(4分)	94	1	110	2	16	1	Es		短3上	並行	
coda		Cによる	アルペジオ(a)+和音 和音奏	110	2	125	1	14	3	Es					
展開部 123			Aによるゼクエント	ユニゾン 4声	125	1	158	1	33	0	f	c g	4上	下屬	
			aによる	4声 和音奏	158	1	177	1	19	0	g		5上	屬短	
			Dによるゼクエント	3声	177	1	195	1	18	0	G	C		屬	
			Dによる整理	ユニゾン 和音奏	195	1	228	1	33	0	f	b Ces fis D	4上	下屬 未確定	
			Dによる整理	ユニゾン+ペダル(レ) 和音奏	228	1	240	1	12	0	G			屬	
			つなぎ	ユニゾン	240	1	248	1	8	0	c			減7	
再現部 126	1部 54	A	属音追加 Bass追加、配置変化	ユニゾン+属音 4声(対位法的) 和音奏	248	1	269	1	21	0	c		1	主	
			レタティーボ追加	単旋律(レタティーボ)											
			繰り返し時、変化	4声(対位法的、階梯導入) 旋律+和音	269	1	277	2	8	1	c				
		B	和音刻み(a)追加	旋律+和音奏+和音刻み(a)	277	2	288	2	11	0	c				
	2部 72	C		アルペジオ(a)+和音 和音奏	288	2	302	1	13	3	c	G			
		D		1声	302	1	306	1	4	0	C		1	同主長	
		E		旋律+和音(2分)+Bass(a)	306	1	323	1	17	0	C				
			2小節ごとにパート変化	旋律+和音(2分)+Bass(a)	323	1	346	1	23	0	F	g c C	4上	下屬(一時的)	
	F		旋律+和音奏 旋律+和音奏+Base(4分)	346	1	362	1	16	0	C					
coda		Cによる	アルペジオ(a)+和音 和音奏	362	1	374	1	12	0	C		1	同主長		
コーダ 129	つなぎ	aによる aの反行	和音奏 1声	374	1	398	1	24	0	f	c			下屬	
		Dと対旋律	4声	398	1	407	1	9	0	c					
		Dによる整理	2声、3声	407	1	423	1	16	0	c					
		G (Eによる)	旋律+和音	423	1	439	1	16	0	c					
		(Eによる)	旋律+和音 掛け合い	439	1	452	1	13	0	c					
		カデンツ	4声の掛け合い	452	1	469	1	17	0						
		A		ユニゾン+属音	469	1	483	1	14	0	c				
				2声+ペダル(I+V)	483	1	491	1	8	0	c				
coda		aによる	和音奏	491	1	503	1	12	0	c					

特徴

呈示部・展開部・再現部・コーダがほぼ同じ大きさで、均衡している。
 1部・2部もほぼ同じ。
 ほとんどaで出来ているため、新出フレーズ数が少ない。
 そのためコーダのGが目立つ。
 GはEの音型からできている

交響曲 NO.6『田園』1楽章 へ長調

Opus 68

1807-1808

2/4拍子

単位 4

	フレーズ	要素(モティーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移				
呈示部 134	1部 66	A	4(a,b,c)+4+4(d)+4 a=1小節 b=2小節 c=3小節 d=6小節 e=9-12小節	旋律+5度 4声	1	1	17	1	16	0	F				
		つなぎ	dによる	旋律+和音奏 1声	17	1	29	1	12	0	F				
			A繰り返し変奏	旋律(3度)+5度(トレモロ16分)	29	1	53	1	24	0	F				
	2部 68	B	aによる	和音奏(3連) 1声	53	1	67	1	14	0	F				
		C	模倣的	旋律(両外声)+内声(トレモロ8分) 内声トレモロは、3連、16分へ	67	1	93	1	26	0	C		5上	属	
		D		旋律(3度)+低声 旋律(3度)+伴奏(トレモロ) 旋律(3連)+和音奏(3連)	93	1	115	1	22	0	C				
		E		2声+ペダル	115	1	127	1	12	0	C				
coda		2声+ペダル	127	1	135	1	8	0	C						
展開部 144		b aはVの和音が付く	1声 旋律+和音	135	1	151	1	16	0	F	B				
		bによる (12+12+16(整理)2+6)	b+伴奏(3連アルペジオ) 和音(トレモロ)+低声(b) 1声 4声	151	1	191	1	40	0	B	D G	4上	下屬 3度近親		
		同上(ゼクエンツ)	同上	191	1	243	1	52	0	G	E A	長2上	3度近親		
		eによる	4声	243	1	247	1	4	0	A		長3上			
		eによる	伴奏(アルペジオ)+旋律(3度) 旋律+伴奏(アルペジオ)	247	1	263	1	16	0	A	g C				
		Vペダル eによる V-IV-Iで復帰	旋律(両外声)+内声ペダル	263	1	279	1	16	0	C	F				
再現部 135	1部 67	A	レントティーポ追加	ペダル+旋律+5度 4声	279	1	301	1	22	0	F		1	主	
		つなぎ	3連での装飾	4声	301	1	312	1	11	0	F				
			Aによる	旋律(3度)+5度(トレモロ16分)	312	1	328	1	16	0	F				
	2部 68	B	2小節追加	和音奏(3連) 1声	328	1	346	1	18	0	F				
		C	模倣的	旋律(両外声)+内声(トレモロ8分) 内声トレモロは、3連、16分へ	346	1	372	1	26	0	F				
		D		旋律(3度)+低声 旋律(3度)+伴奏(トレモロ) 旋律(3連)+和音奏(3連)	372	1	394	1	22	0	F				
		E		2声+ペダル	394	1	406	1	12	0	F				
coda		2声+ペダル	406	1	414	1	8	0	F						
コーダ 99		展開部の初めと同じ	1声 旋律+和音	414	1	422	1	8	0	F	B				
		aによる	4声(8分で和音付)	422	1	428	1	6	0	B		4上	下屬		
		Eによる	2声+ペダル	428	1	448	1	20	0	B	F				
		F Eの3度下降 カデンツからVペダルへ	和音奏(3連)	448	1	468	1	20	0	F					
		bによる	4声	468	1	476	1	8	0	F					
		cによる	2声 2声+和音奏 アルペジオ+和音奏	476	1	492	1	16	0	F					
coda		1声+ペダル 1声 和音奏	492	1	513	1	21	0	F						

特徴

転調が少なく、短調がほとんどない。
その代り展開部で3度近親が行われる。
フレーズが長くゆったりしている。繰り返しが多い。
その代りリズム変化(3連)などが行われる。

Aを1小節ごとにモティーフに分解して使っている。

交響曲 NO.7 1楽章 イ長調

Opus 92

1811-1812

4/4拍子

単位 6

	フレーズ	要素(モチーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移				
序奏 64			4声(模倣)+和音奏 音階+トレモロ+ペダル	1	1	15	1	14	0	A	C A	1	主		
			旋律(模倣)+音階+和音(トレモロ)	15	1	23	1	8	0	A	D C				
			4声 ペダル+4声	23	1	34	1	11	0	C		短3上			
			旋律+音階+和音(トレモロ)	34	1	42	1	8	0	A	h e C	1	主		
			4声 和音(連打)+4声	42	1	54	1	12	0	F		長3下			
		Vペダル		1声 4声 1声→和音	54	1	67	1	13	0	A		1	主	
呈示部 110	1部 52	A	8+6+8 a=1-2小節 b=2-3小節 c=6-7小節	旋律+和音 旋律(掛け合い)+和音 ユニゾン	67	1	89	1	22	0	A				
			A	旋律+伴奏(トレモロ+Bass)	89	1	101	1	12	0	A				
			cによる 整理	2声(掛け合い) +伴奏(トレモロ+アルペジオ)	101	1	109	1	8	0	A				
	2部 58	B	bによる	旋律+和音(トレモロ) 旋律+伴奏(和音奏)	109	1	119	1	10	0	H	cis gis	長2上	属の属	
		C		旋律(和音)+対旋律+和音 和音奏 ユニゾン	119	1	130	1	11	0	E		5上	属	
		D		和音奏+ペダル ユニゾン	130	1	142	1	12	0	E	C			
		つなぎ		旋律+和音(トレモロ)+Bass	142	1	152	1	10	0	e	E		属短	
		E	カデンツ	和音(トレモロ)+Bass	152	1	164	1	12	0	E		5上	属 Nの和音を使用	
	coda		A	模倣(両外声)+和音(トレモロ)	164	1	171	1	7	0	E				
		つなぎ		ユニゾン	171	1	177	1	6	0	E				
展開部 101		つなぎの延長 aによる模倣	ユニゾン 4声(模倣) 和音奏	177	1	201	1	24	0	C		短3上			
		ゼクエンツ	2声(掛け合い)+伴奏(トレモロ) 和音奏 ユニゾン	201	1	220	1	19	0	C	E				
			3声、4声(対位的)	220	1	236	1	16	0	Des	F C g d	長3上			
			旋律(両外声模倣)+和音奏 和音奏	236	1	254	1	18	0	d	B F g	4上	下屬短		
			和音奏	254	1	264	1	10	0	d	a				
			ユニゾン	264	1	272	1	8	0	a		1	同主短		
		Vペダル		ペダル+和音	272	1	278	1	6	0	A			主	
再現部 111	1部 53	A	低音が変化 木管に和音奏を追加	旋律+和音(トレモロ)+Bass(旋律)	278	1	301	1	23	0	A				
			Aによる Aの後半によるゼクエンツ 整理	旋律+対旋律+和音(上声ペダル) 旋律+和音 旋律+伴奏(和音奏+Iペダル)	301	1	323	1	22	0	D	g B d a	4上	下屬	
		B		旋律+和音(トレモロ) 旋律+伴奏(和音奏)	323	1	331	1	8	0	a		1	同主短	
	2部 58	C		旋律(和音)+対旋律+和音 和音奏 ユニゾン	331	1	342	1	11	0	A			主	
		D		和音奏+ペダル ユニゾン	342	1	354	1	12	0	A	F			
		つなぎ		旋律+和音(トレモロ)+Bass	354	1	364	1	10	0	a	A			
		E	木管に和音奏を追加	和音(トレモロ)+Bass	364	1	376	1	12	0	A			Nの和音を使用	
	coda		A	模倣(両外声)+和音(トレモロ)	376	1	386	1	10	0	A				
つなぎ			ユニゾン	386	1	389	1	3	0	A					
コーダ 62			旋律+和音奏	389	1	401	1	12	0	As	C F A	短2下	不安定		
	Vペダル		2声+ペダル	401	1	422	1	21	0	A		1	主		
	coda		旋律+和音奏 和音奏	422	1	451	1	29	0	A					

特徴

呈示部、展開部、再現部がほぼ同じ。
序奏も時間的に提示部と同じ長さ。
3度関係の調を多用している。
2部の入りが曖昧。

ほとんどがAの付点のリズムで出来ている。

	フレーズ	要素(モティーフなど)	テクスチャ	開始位置		終了位置		長さ		調		音度	調関係	
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移			
103	1部 44.67	A	4+4+4 a=1小節目 b=3小節目	4声	1	1	12	1	11	0	F			
		B	8+8+9 整理	旋律+伴奏(トレモロ) 和音奏	12	1	37	3	25	2	F	d		
		C	8+8+9 整理	旋律+伴奏(トレモロ) 和音奏	37	3	45	3	8	0	D		短3下	
	2部 58.33		C 繰り返し	旋律+和音+Bass	45	3	52	1	6	1	C		5上	属
		つなぎ		アルペジオ(外声模倣)+和音(トレモロ) 和音奏	52	1	70	1	18	0				減7 未確定
		D	(3+7)x2	和音奏 3声, 4声	70	1	90	1	20	0	C		5上	属
		coda	E		4声 アルペジオ	90	1	100	1	10	0	C		
つなぎ	c=リズム		ユニゾン	100	1	104	1	4	0	C				
86	展開部		12+12+16 a+cのゼクエンツ	aの模倣+和音+ペダル(c) アルペジオ ユニゾン(c)	104	1	144	1	40	0	C	B d		
		aによる	2声+和音 3声+和音	144	1	160	1	16	0	d	g c	短3下	並行	
		aによる	外声(掛け合い)+伴奏(和音、アルペジオ) 旋律+3声	160	1	168	1	8	0	f		1	同主短	
		aによる	外声(掛け合い)+和音(トレモロ)	168	1	176	1	8	0	Des	b	長3下		
		Vペダル	aによる 整理	外声(掛け合い)+和音(トレモロ)	176	1	184	1	8	0	f		1	同主短
	Vペダル	b=1小節目	和音奏+ペダル(b)	184	1	190	1	6	0	f	F			
111.00	1部 52.67	A(Vペダル)	旋律が低声に変更	和音+旋律	190	1	197	1	7	0	F		1	主
			A繰り返しの延長	4声 旋律(低声)	197	1	209	1	12	0	F			
		B	旋律が低声に変更 対旋律追加	対旋律+和音(トレモロ)+旋律 和音奏	209	1	235	3	26	2	F			
		C	旋律が低声に変更 対旋律追加	対旋律+和音(トレモロ)+旋律 和音奏	235	3	242	3	7	0	F			
	2部 58.33		C 繰り返し	旋律+和音+Bass	242	3	249	1	6	1	B	F	4上	下屬
		つなぎ		アルペジオ(外声模倣)+和音(トレモロ) 和音奏	249	1	267	1	18	0	F			減7 未確定
		D		和音奏 3声, 4声	267	1	287	1	20	0	F			
		coda	E		4声 アルペジオ	287	1	297	1	10	0	F		
つなぎ			ユニゾン	297	1	301	1	4	0	F				
70	コーダ		A+cによる bによる	a+和音+ペダル(c)	301	1	311	1	10	0	F	Des		
			bによる ゼクエンツ	b+和音	311	1	323	1	12	0	Des	es f F	長3下	
			aによる	旋律(3度)+和音(連打) 和音奏	323	1	333	1	10	0	F		1	主
		Vペダル	Dの後半による	4声+ペダル	333	1	341	1	8	0	F			
			Dの後半による	和音+旋律	341	1	351	1	10	0	F			
		aによる	旋律(3度)+和音奏	351	1	360	1	9	0	F				
	coda	aによる	和音奏掛け合い 旋律(a)+和音奏	360	1	371	1	11	0	F				

特徴

普通はCを2部の初めとする。そうすると1部が小さい。
 少し変だが、Cの対比調になるところを2部開始とするとほぼ均等。
 1部のフレーズが目立つ

2/4拍子

単位 4

提示部	フレーズ	要素(モチーフなど)	テクスチャ	開始位置			終了位置			長さ		調		音度	調関係	
				小節	拍	小節	拍	小節	拍	開始	推移					
159	1部 79		序奏風	旋律+トレモロ(5度)	1	1	16	4	15	3	a(d)			5上		
		A	a=前半2小節 b=後半2小節	ユニゾン	16	4	21	1	4	1	d			1	主	
		B		和音奏	21	1	27	2	6	1	d					
				和音奏	27	2	36	1	8	3	d					
			序奏風	旋律+トレモロ(5度)	36	1	49	4	13	3	d					
		A		ユニゾン	49	4	55	1	5	1	B				長3下	
			bによる	ユニゾン	55	4	63	1	7	1	B	d				
		Bの後半による	4声(内声ペダル)	63	1	74	1	11	0	d				1	主	
	C		旋律(3度)+和音	74	1	80	1	6	0	B					長3下	
	2部 80	D		旋律+伴奏(アルペジオ) 4声	80	1	92	2	12	1	B					
		E		4声(模倣) 和音奏	92	1	102	1	10	0	B(g)					
		F		和音奏 4声	102	1	110	1	8	0	B					
			Fによるつなぎ	旋律+Bass(F) スケール	110	1	116	1	6	0	H				短3下	対比調のナポリ
			Dの装飾によるつなぎ	走向風+Bass	116	1	120	1	4	0	B					長3下
		G	整理	旋律+伴奏(和音奏)	120	1	132	1	12	0	B					
coda		H		2声(走向+Bass)+和音	132	1	138	1	6	0	B					
	I		4声、和音奏の掛け合い	138	1	150	1	12	0	B						
	J	aによる	ユニゾン掛け合い ユニゾン	150	1	160	1	10	0	B						
展開部 141		aによる	旋律+和音トレモロ	160	1	188	1	28	0	A	D g		5上	属		
		aによる	旋律+和音トレモロ	188	1	198	1	10	0	g	c		4上	下屬		
		Jによる	ユニゾン 4声	198	1	218	1	20	0	c	B		長2下			
		同上	同上	218	1	236	1	18	0	B			長3下			
		bによる	3声(対位法的)+内声ペダル	236	1	253	1	17	0	B	a					
		bによる	3声(対位法的)+内声ペダル	253	1	275	1	22	0	a			5上	属短		
		Dによる	旋律+伴奏(アルペジオ)	275	1	287	1	12	0	a	F					
		D+bによる	4声	287	1	297	1	10	0	F	d		短3上	並行		
	V7	bによる	ユニゾン+和音奏	297	1	301	1	4	0	d			1	主		
	再現部 127	1部 44			旋律+和音	301	1	315	1	14	0	D			1	同主長
A			和音が付加 2小節追加	旋律(模倣)+和音 2声(b模倣)+Bass	315	1	323	1	8	0	d				主	
B			Bの模倣に変化	模倣+和音奏	323	1	339	1	16	0	g			4上	下屬	
C			旋律(3度)+和音	339	1	345	1	6	0	D			1			
2部 83		D		旋律+伴奏(アルペジオ) 4声	345	1	359	1	14	0	D	d			同主長	
		E		4声(模倣) 和音奏	359	1	369	1	10	0	d				主	
		F		和音奏 4声	369	1	377	1	8	0	d	D Es				
			旋律+Bass(F) スケール	377	1	383	1	6	0	Es	d		短2上	ナポリ		
			走向風+Bass	383	1	387	1	4	0	d						
G			旋律+伴奏(和音奏)	387	1	401	1	14	0	d	D		1	主		
coda		H		2声(走向+Bass)+和音	401	1	407	1	6	0	d					
	I		4声、和音奏の掛け合い	407	1	419	1	12	0	d						
	J		ユニゾン掛け合い ユニゾン	419	1	428	1	9	0	d						
		aによる	旋律+和音(トレモロ)+Bass	428	1	453	1	25	0	d	g d		1	主		
コーダ 120		bによるゼクエンツ		453	1	463	1	10	0	d						
		Eによる	4声	463	1	469	1	6	0	d						
		Jによる	和音奏+Bass	469	1	477	1	8	0	d						
	Vペダル	bによる	旋律(2声)+保続	477	1	495	1	18	0	d						
		bによる	旋律(2声)+保続 旋律(2声)+和音	495	1	505	1	10	0	d						
		Eによる	4声(模倣) 和音奏	505	1	513	1	8	0	d						
		bによる	4声(模倣) 和音奏	513	1	531	1	18	0	d						
	coda		aによる	旋律(2声)+旋律(半音階的)	531	1	539	1	8	0	d					
		Iペダル		和音+トレモロ	539	1	548	1	9	0	d					
		Aによる		ユニゾン	548	1	559	1	11	0	d					

特徴

各部分の大きさは、ほぼ均衡している。
対比調がD系でない。出てくる調域が少ない。
開始がa-mollのような感じ。
ほとんどAに含まれる2つの音型だけで展開される